

古高取通信

No.38

令和6年1月

私たちは、活動の四本柱を基に、まちづくりに貢献することを目指します。

1. 活動の拠点を創る
2. 古高取の知識を深める
3. 古高取の魅力を伝える
4. 次世代へつなげる

古高取を伝える会会報



マイ茶碗づくり10,000個達成記念(感田小学校)

目次	
活動の記録	2
東蓮寺藩誕生400年記念事業	4
・マイ茶碗づくり10,000個	7
達成記念事業	10
なんでも掲示板	7
お知らせ	10

『数字は二から始まった』

一はない。二ができたから一が起こったと言う。通常の数字の概念から、おかしいと思われるかもしれない。

この意味は、長男いう名は、次男が生まれたからである。

分家が起こったから、本家と呼ばれる事となった。

商売がうまくいって、次々と支店ができたから、最初の店が本店と呼ばれるようになった。

私共は多くの人々とながり、結びつき、関わりを持って生きている。その関係性を深めると、二ができたから一が起こったのであり、私があつて他があるということではあるまい。

そうそう辞書を開くと「いのちとは、支える働き、生かす力」とかいてあった。

鷹取宗恵

「春立つや 愚の上に また愚に帰る」

一茶

活動の記録(2023年7月～12月)

理事会

- 「第4回」
△2023年7月3日(月)△
- 「第5回」
△2023年8月7日(月)△
- 「第6回」
△2023年9月4日(月)△
- 「第7回」
△2023年10月2日(月)△
- 「第8回」
△2023年11月6日(月)△
- 「第9回」
△2023年12月4日(月)△

学習部会

今年度は”世界の茶”歴史を
ひもとく”をテーマに3回実施
しました。なお、10月には”東蓮
寺藩誕生400年記念事業”とし
て、記念講演会を行いました。

「第1回」

△2023年9月10日(日)△
内容…世界の茶についての概要

「第2回」

△2023年11月12日(日)△
内容…アジア・西欧・米国の茶



「第3回」

△2023年12月10日(日)△
内容…まとめとして中国茶・日本茶
※場所・時間は、いずれも直方古町北区
公民館で10時30分～12時

広報部会

「第2回」

△2024年1月15日(月)△
場所…古町北区公民館

焼物部会

「鞍手幼稚園」

△2023年9月1日(金)△



- 「直方西小学校」
△2023年9月6日(水)△
 - 「新入小学校」
△2023年9月26日(火)△
 - 「直方北小学校」
△2023年10月6日(金)△
 - 「感田小学校」
△2023年10月13日(金)△
 - 「直方東小学校」
△2023年10月19日(木)△
 - 「直方南小学校」
△2023年11月1日(水)△
 - 「親子陶芸教室」
△2023年11月18日(土)△
- 場所…直方市中央公民館

鞍手幼稚園焼き物教室

理事 倉田 豊子



9月2日(土) 38名の園児が参
加しました。7人のクラスでお茶
碗づくりをすることになりました。
お行儀がよく、静かに待っていた
のでびっくりしました。

粘土の感触を楽しんでもらおう
とゆっくりと進めました。子供た
ちは、粘土玉を持ち上げたり叩い
たり指で押ししたりして楽しんでい
る様子でした。お茶碗の土台は保
護者の方に手伝ってもらいました。
皆さん上手でこれまたびっくり。

お絵かきの時間をたっぷりとり
ました。お茶碗の厚さが少し厚め
でしたが、それが良かったようで
子供たちにとっては描きやすかつ
たようです。線が浅い所はうちの
人の助けを借りて、深くなぞって
もらうようにしました。

協力してお茶碗を作り上げた
と思います。最後に一人ひとりに
インタビューをしました。楽しかつ
たところは？と尋ねました。

- ①名前やハート、波を書いたところ
②こねこねするところ ②顔、
パパのお花？ ④絵を描くところ
⑤こねるところ ⑥作るところ
⑦猫の絵をかくところ
楽しんでくれて一安心です。

子供焼物教室に参加して

理事 村上 和正

令和5年10月13日（金）感田小
学校体育館に於きまして、6年生
のマイ茶碗づくり授業に参加しま
した。

折しもマイ茶碗作り事業をスタ
ートして15年目にして東蓮寺藩誕
生400年を迎える年の今日、通
算10000個を達成するという



記念の日に立ち会わせていただく
ことになりました。児童の数は約
120名。制作をサポートする古
高取りを伝える会からは、副会長
の鷹取氏をはじめ総勢18名が参加
しました。

副会長の挨拶に始まり、古高取
焼の歴史的背景の説明、粘土の取
り扱い方、試作実演を各会員が分
担して行いました。

児童はクラスごとに輪になって
作り始めます。ロクロの上に置き
た粘土を見つめる眼差しは真剣で、
仕上げる模様を描く際には、皆床
に寝そべって作業する姿がほほ笑
ましく、学校でもご家庭でもなか
なかな出来ない体験だと思いました。
テレビ局や新聞社などマスコミ
も取材に駆けつけ、舞台の横断幕
の前に児童が集合して記念撮影し

たりと思い出の卒業記念制作にな
ったことでしょう。卒業式前に予
定のお茶会が楽しみです。

マイ茶碗づくり 10,000個達成に熱い想い

理事 末松 登志子

平成20年に「古高取を伝える会」
が発足し、活動の四本柱の1つ
「次世代につなげる」ということで
焼物部会が”市内11校小学6年生・
他に幼稚園・地域・社会教育育成”
とあらゆる所で依頼されれば積極
的に参加させていただいています。

高取焼が「黒田藩52万石の御用
窯として400年前、直方が発祥
の地」ということを言い続け活動
し、15年が経過しました。10,0
00人以上の人と出会いマイ茶碗
を手にしたことになりました。

これからの未来を託す多くの若
者に会わせていただくことは、関
わって来たボランティアの私たち
の大きな宝物です。子ども達に
「伝える人になって」といつもお願
いしています。

コロナで世の中が大きく変わっ
ていくだろうとの予感があります

が、積み重ねた歴史を学ぶことで
未来へと歩み続けられるのです。
このページに作品を掲載してい
る新入小学校で作品を届けた日、
子ども達が全員玄関に出てきて作
品を受け取ってくれ皆さんで大き
な声でお礼を言ってくれました。

はじめての事なので車の中で胸が
熱くなり、こみ上げてくるものが
ありました。

令和6年度も頑張れそうだなと
思いました。ありがとうございました。



東蓮寺藩誕生400年記念事業
・マイ茶碗づくり10,000個
達成記念事業

記念講演

〈2023年10月15日(日)〉

10時30分〜12時

場所…直方市中央公民館

2階第1学習室

題名…東蓮寺藩誕生時の高取焼の

状況について

講師…副島邦弘(元九州歴史資料館参事)

講演の内容は次のような項目で

説明した。

- (1) 高取焼略年譜
- (2) 高取焼白旗山窯跡調査
- (3) 白旗山窯位置・地形図・窯三基実測図
- (4) 黒田家の動向年表(高取焼関係含)
- (5) 黒田長政の子ども達の生涯年表(子息・子嬢6名)

この中で、黒田長政が逝去した元和九(1623)年閏8月4日以後、遺言に従って、本藩忠之・秋月藩五万石として三男長興と東蓮寺藩四万石として四男高政に支藩の成立を見た。

関連年表

年	関連事項	社参	長政参勤状況	福岡藩手伝書簡	生没
(月、日)	(月、日)	(月、日)	家前入部(12月)	(月)	(月、日)
1600 慶長5					
6	11. 2 江戸市街全焼		在国		
7			在国		11. 9 黒田忠之生
8	2. 12 家康征夷大將軍就任 7. 26 千姫入興		福岡→江戸→京都 →江戸→福岡	3. 江戸市街普請	
9			福岡→伏見→福岡	8. 江戸築城大石運送	3. 20 黒田孝高没
10	4. 16 秀忠上洛、將軍就任		福岡		
11		7. 18	福岡→江戸→福岡	3. 江戸城跡築(→6月)	
12			福岡	1. 駿府城普請	
13			福岡		
14			福岡→駿府→江戸		
15		閏2. 6	江戸→駿府→名古屋 →駿府→福岡	11. 名古屋城普請	
16	3. 28 秀頼、二条城参勤		福岡→京都→福岡		4. 6 浅野長政没 6. 23 加藤清正没
17	3. 岡本大八事件	11. 28	福岡→駿府	3. 京都御所	
18			駿府→江戸→福岡		4. 25 大久保長安没
19	10. 大坂冬の陣	2. 28	福岡→駿府→江戸	1. 江戸修築	
(1615) 元和1	4. 大坂夏の陣 7. 7 武家諸法度		江戸→京都→江戸		5. 8 豊田秀頼没
2			江戸→駿府→江戸		4. 17 徳川家康没 6. 7 本多正信没
3	6. 29 秀忠上洛		江戸→京都→福岡		
4			福岡		
5	5. 8 秀忠上洛 6. 2 福島正則改易		福岡→江戸		
6	9. 7 竹千代・国松元服		江戸→京都→福岡	1. 大坂城修築	
7			福岡→江戸		6. 29 安藤重信没
8	8. 23 本多正純改易		江戸		
9	7. 上洛、家光將軍就任		江戸→京都		8. 4 黒田長政没

〈出典〉『黒田家譜』『黒田年譜』『重綱・一重公年譜公録』『拜旧記』などによる。

表 関連年表(『黒田長政行動表』福田千鶴、2005から)

男高政(慶長17)、次女亀(元和3)が生まれている。妻の大涼院は5人の子宝にめぐまれ、徳川家とは血縁関係であった。

大坂の陣の慶長十九(1614)年には豊臣恩顧の大名は江戸で留居役で、黒田長政・福島正則・加藤嘉明を充てている。

そのため長政は長男忠之を大坂の陣に出向させた。

元和元(1615)年豊臣氏の滅亡後、幕府は一国一城令を出す。

福島正則改易・加藤家断絶とつづき徳川忠長改易等が二代・三代將軍による改易断絶したのは33家を数える。改易理由のほとんど多かったのは大名に嗣子がなく所領没収となる無嗣断絶で、世嗣断絶ともいう。

黒田家の長男である忠之は寛永二(1625)年大船建造(鳳凰丸)したため幕府から疑われたが問題とならなかった。裏で大涼院が動いたと考えられる。この年、弟の政冬が病で死去した。博多聖福寺葬る。

寛永九(1632)年家老栗山大膳が幕府に主君黒田忠之が謀反ありと訴えた事件である。いわゆる黒田騒動である。

(1)・(2)・(3)の項目では、東蓮寺藩成立時には古高取のⅡ期の頓野内ヶ磯窯で、古田織部好み

の高取焼を焼成して献上品として茶道類を作製し、日常雑器も同時に焼成している。その窯は焚き口

と15室の部屋をもつ46.5メートルの登り窯で連房式の階段状のものである。周辺部に工房を付設している。黒田長政が藩窯として管理し、工人として高取八蔵を首班としてまとめていた。東蓮寺藩の成立した時には閉窯していたわけで、高取焼は幸袋村の白旗山に移動して茶道様式も小堀遠州好みと変化

(4)・(5)の項目は、黒田家の動向と長政の子ども達の生きざまをまとめた。

慶長五(1600)年黒田長政は豊前中津から筑前博多に移封された。

長政には大涼院(家康養女・姪)との間に長男忠之(慶長7)出生、次男政冬は妾腹(慶長9)、長女徳(慶長11)、三男長興(慶長15)、四

展示会と記念茶会・作陶体験
(マイ茶碗づくり)

〈2023年10月27日(金)〉

29日(日)〈

場所…福智山ろく花公園

(直方市永満寺1498)

内容…1. 市内小学校6年生の作品展示

2. 高取焼展示・販売

高取八山・高取八仙・高取

焼協同組合の作品

3. 記念茶会29日(日)10時〜

15時のみ

参加費300円

4. 作陶体験29日(日)11時〜

12時のみ

参加費2000円

※花公園の入園料が必要です。

●記念茶会

福智山ろく花公園の中の東屋でのお茶会には、市長始め多くの方々
が庭の散策の途中に訪れてくださ
いました。「お茶の飲み方を教え
てください」と尋ねる若いカップ
ルや同級生だという年を召された
グループもありました。晴天の中、
ゆったりとお茶を楽しんでいただ
けたと思います。6年生の生徒た
ちが卒業記念として作り続けてき

た高取焼の魅力やお茶の文化をこ
れからも広く伝えていけたらと思
いました。用意していたお菓子も
終了時間前にはすべてなくなり、
記念茶会は無事終了となりました。

成清一枝

●作陶体験

今回、初めて高取焼を自分の手
でつくってみて、高取焼の芸術的、
文化的な価値を感じました。

私の一族は直方という地に縁が
あつて、私は直方が大好きで以前
から高取焼に興味がありました。

私の母方の祖母の家系は先祖代
々、永満寺の城下町に住んでいて、
口伝えに「殿様の館に向く時は
腰に刀を差し、紋付き袴を着り参
った。」などがあります。なかでも
「館内で弓矢大会があり先祖は良
成績をのこしたので、殿様から褒
美として高取焼の茶道具を拝領し
た。」と伝え聴いています。

今回、そのような先祖ゆかりの
高取焼について、より知ることが
でき感動しました。これからも古
高取を伝える会のみなさんが国内

でも非常に価値の高い高取焼の魅
力を次世代の若い人々に発信して
いくことに影ながら応援していま
す。

北九州市 末松晋弥



●作品展示

令和5年10月27日〜29日に福智
山ろく花公園で、「焼物展示と記
念茶会」が開催され、当「とんの
台元気会」から6名の作品を展示
させていただくこととなりました。

福智山ろく花公園の会場には、
小学校の生徒とその親御さん達の
作品が並べられており、我々「と
んの台元気会」の作品も展示させ
て頂きました。

その隣には小石原の高取焼宗家
「八山窯」と「八仙窯」の作品の展示

販売が行われていた。
私も宗家八山の作品を購入しま
した。

その後、場所を変えて、6名に
て記念茶会に赴きました。

茶会席では着物姿のご婦人から
迎えられ、美味しいお茶菓子を頂
きながら、結構なお点前でした。

その他、作陶体験も行われてお
り、大変盛況でした。

本当に楽しい一日でありました。
今後とも、このような会が若者
からシニアまで含めて益々発展す
ることを祈ります。

有難うございました。

とんの台元気会

世話役

中西徹



とんの台元気会の作品

なんでも掲示板

●親子陶芸教室

(地域対象焼物教室)

〈2023年11月18日(土)〉

場所…直方市中央公民館

主催…直方市青少年育成市民会議

直方市青少年育成市民会議が主催する親子陶芸教室においては、例年「古高取を伝える会」の方々に、参加者への陶芸指導をお願いしています。

今回も、教室に参加した親子に懇切丁寧なご指導をしていただき



ました。

陶芸に限らず「ものづくり」という領域に对峙するとき、人はとても謙虚になり、目の前の事象に没頭することが出来ます。

そこには子どもも大人も関係なく、ただ「自分が納得できるものを創りあげたい」という欲求のまま、自身を表現しようとしています。

「古高取を伝える会」の方々は、そのような気持ちを実によく理解され、参加者が土で作り上げる形をできる限り活かしてあげようとされている姿がとても印象的でした。

子どもたちが作ったものが奇抜な形であっても、その子が表現したい形を重視し、乾燥や焼成の際に支障がありそうな部分だけを手直ししてくださっているのは、とても微笑ましく、自分の表現を認めてもらった子どもたちの笑顔が輝いて見えました。

そのような場面に出会えた時、私も主催者は、この親子陶芸教室を開催してよかったと心から思えます。

「古高取を伝える会」の皆様が、陶器についての知識もさることながら、作り手としての経験をもとに、作り手に寄り添う気持ちを大切にされているからこそ生まれる温かい雰囲気はとても心地のよいものでした。

子どもたちに「ものづくり」のすばらしさを教えていただき、誠にありがとうございました。

直方市教育委員会

文化・スポーツ推進課

課長 長田正志

●親子陶芸教室

(地域対象焼物教室)

〈2023年11月18日(土)〉

場所…直方市中央公民館

主催…直方市青少年育成市民会議

親子で作陶体験させていただきました。5歳の娘は初体験。工作の粘土とは少し違う粘土の触感が「ツルツル」していて、最初は硬くて難しかったけど、頑張って捏ねてお皿の形に出来て楽しかった」



と、とても楽しんだようです。

出来上がったお皿でホットケーキを食べたいと焼き上がりを楽しみにしておりました。

焼き上がった器を手にして、「グレーの粘土がこんなふうになったんだ！すごい！私だけのお皿だね！嬉しい！」ととても喜んでおりました。まずは、ホットケーキを食べるのが楽しみです。

とても良い思い出に残る体験となりました。ありがとうございました。

齊藤真由・世夏(5)

●焼物展示と記念茶会

〔東蓮寺藩誕生400年記念事業〕

〈2023年10月29日(日)〉

場所…福智山ろく花公園



作陶の様子

さんの指導のもと、マイ茶碗を作陶することとなりました。

その時の様子ですが、当会員総勢12名は皆、高齢者です。

子供に返ったように楽しく、喜ぶ顔が忘れられませんでした。

其の後7月には臥瀧庵からマイ茶碗が焼き上がってきました。

窯元の能間先生からも非常に出来が良いとのお褒めを頂いたように、早速、当集会所にてお茶会を開きました。これらを通じて直方が高取焼発祥の地であることの認識が高まったと感じたのは私だけでしょうか？

とんの台元気会 中西徹

●感田小学校の6年生から

感想文をいただきました

私は高取焼をつくるという体験をさせていただき、本当に良かったなと思います。

なぜなら、高取焼について教えてくださいくださった方のお話しがとても分かりやすく、おもしろかったからです。

焼物をつくるときには、ゆっくり、しんちように形を作っていく、

何度も失敗したけど、あきらめず、きれいな形にして、世界に一つの焼物をつくるのができたらか、とてもうれしかったです。

焼物をつくるときに使った土は、水っぽく、やわらかかったです。そして、道具は始めてさわって使うことができたが、あつかうのはむずかしく感じました。

お茶会で、自分の焼物でお茶のむのが楽しみです。

本当に、高取焼について教えてくださったみなさん貴重な体験ありがとうございました。

6年1組 武友咲理

~~~~~

高取焼をつくる事で高取焼の歴史やつくり方を学びがそれを通して他にも地域の方のありがたみを感じました。高取焼はやってみると案外難しく、でもとても貴重な体験をする事ができました。今回司会をさせていただきとても勉強になりました。三学期に高取焼がどき、お茶会をするのが待ちどおしいです。今回は素晴らしい体験をありがとうございました。

6年2組 高野瑛大

~~~~~



私は、高取焼を体験してみて、感動しました。初めて高取焼を作ってみて、お茶碗1個を作るのに、こんなに大変なんだと実感しました。まず、高取焼を教えてください先生が来てくれました。私は初めてだったこともあり、困っていたところを丁寧に教えてくれて、大変だった茶碗の形を整えたり模様をつけたりするのも手伝ってくれました。

次に、私たちが作った茶碗を、先生たちが焼いてくれます。渡すときに『どうなるのかな…』とドキドキしました。完成した茶碗を見るのが楽しみです。

そして、高取焼を作るという貴重な体験ができたし、高取焼の歴史も知れて勉強にもなりました。

6年3組 西村心

●明元寺もみじ法要

へ2023年11月23日(水・祝)

14時〜16時

場所…明元寺(直方市永満寺1987)

当日は、法要の後に、ゆいまーるバンド(沖縄音楽)とサクソフォン(クラシック)の演奏を行いました。

人・自然・音楽。楽しみました。

鷹取宗恵



ゆいまーるバンド



サクソフォン演奏の様子



明元寺のコキア

●アジサイ園だより

(金剛山もととり保全協議会)

へ2023年7月

場所…金剛山もととり広場

明けましておめでとうございました。

令和5年がかけ足で去っていき

ました。
コロナが5類に移行して6月にアジサイ園を開園しました。車の台数9000台、27,000人近くが山の中に登って来られたと推定しました。1ヶ月間の開園を

終え、7月中に花つみも終えました。9月より又土曜日の作業を開始。今年の草は暑さに負けず伸び放題。格闘でした。異常な気候が続くことを念頭に対策が必要かなと思う日々です。

今年6月、また綺麗な花が咲いてくれるか心配ですが、自然にまかせるとはありませぬ。

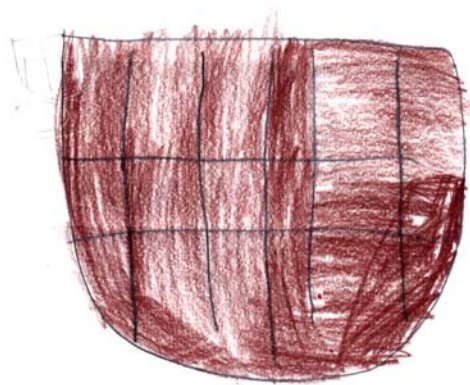
4月には桜・チューリップも楽しめず。登って来てください。

アジサイ園一同

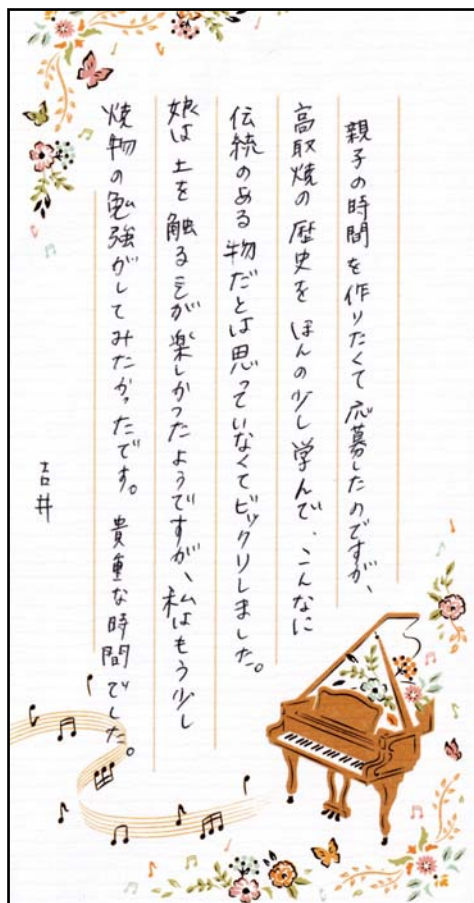


金剛山もととり広場に咲く桜とチューリップ

おやことうがい きょうしつのかんそう
はじめは、じょうずにつくれるかわからなくてきんち
していました。
さわっているうちに土がやわらかくなっていきもちが
でち。きょうはおちゃんをつくりました。
じょうず'にて'きました。パッパにプレゼント



のおかいたみなみ小学校
よいいかわで



お知らせ

●高取焼基礎研修講座

「現地視察」

△2024年3月27日(水)△(予定)
バス見学…柿右衛門の里(有田町)

詳細は、別途ご案内致します。



子供焼物教室を体験した 感想をお寄せください

マイ茶碗づくりを経験した
子供たちも20歳を迎えます。
茶碗づくりをどう思ってい
るでしょうか。

茶碗づくりや歴史学習を通
して趣味や関心は広がったで
しょうか等、マイ茶碗を持っ
ている方々の現在の思いをお
知らせください。

〈編集後記〉

今号の表紙は、マイ茶碗10、
000個達成を記念して、感田
小学校で撮影した写真を掲載し
ました。次号からは、また地域
の宝や文化等を紹介する予定で
す。

コロナ後の新しい環境で、こ
れからも地域貢献できるように
頑張りたいと思います。

皆様、どうぞ宜しくお願い致
します。

「古高取通信」会報・NO

〈発行〉

古高取を伝える会

〈発行日〉

令和6年1月15日

〈現在の会員数〉

正会員 54名(54日)
賛助会員 18名(27日)
団体 1団体(1日)

〈マイ茶碗の数〉

10176個

〈事務局〉

〒822-0026
福岡県直方市津田町7-14
TEL 0949(23)1311